

# 貸 借 対 照 表

(平成30年 3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>12,470,558</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>3,428,598</b>
現金及び預金	863,220	買掛金	1,689,676
受取手形	4,554	リース債務	18,743
売掛金	2,465,604	未払金	290,595
未成事業支出金	160,309	未払費用	822,790
棚卸資産	27,190	未払法人税等	273,637
前払費用	612	未払事業所税	9,211
リース投資資産	32,676	未払消費税等	201,121
短期貸付金	8,500,000	預り金	88,803
繰延税金資産	223,109	受注損失引当金	32,470
その他の流動資産	193,280	その他の流動負債	1,549
<b>固 定 資 産</b>	<b>4,004,682</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>4,938,306</b>
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>2,112,777</b>	リース債務	35,664
建物	909,229	退職給付引当金	4,902,641
構築物	97,945	<b>負 債 合 計</b>	<b>8,366,904</b>
機械装置	36,053	<b>純 資 産 の 部</b>	
船舶	491,474	<b>株 主 資 本</b>	<b>8,108,336</b>
車両運搬具	0	資本金	120,000
工具器具備品	220,880	資本剰余金	30,000
土地	221,140	資本準備金	30,000
リース資産	17,776	利益剰余金	7,958,336
建設仮勘定	118,277	利益準備金	30,000
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>78,650</b>	その他利益剰余金	7,928,336
ソフトウェア	70,484	別途積立金	7,200,000
電話加入権	8,165	繰越利益剰余金	728,336
<b>投 資 そ の 他 の 資 産</b>	<b>1,813,254</b>	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>8,108,336</b>
投資有価証券	104,800	<b>負 債 及 び 純 資 産 合 計</b>	<b>16,475,240</b>
関係会社有価証券	160,500		
長期前払費用	3,683		
繰延税金資産	1,514,838		
その他の投資等	35,581		
貸倒引当金	△ 6,150		
<b>資 産 合 計</b>	<b>16,475,240</b>		

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のないもの…移動平均法による原価法

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

移動平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

### 2. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。

#### (2) 無形固定資産

定額法

#### (3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

### 3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金……売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 退職給付引当金…従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（3年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

(3) 受注損失引当金…将来の受注損失の発生に備えるため、受注損失が確実視される場合に、当事業年度末において合理的に見積もることができる受注損失見込み額を計上しております。

### 4. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(貸借対照表に関する注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額	6, 718, 231千円
2. 関係会社に対する金銭債権・金銭債務	
短期金銭債権	1, 834, 820千円
短期金銭債務	19, 844千円
長期金銭債務	842千円

3. 未成事業支出金及び受注損失引当金の注記

損失の発生が見込まれる受注契約に係る未成事業支出金と受注損失引当金は、相殺せずに両建てで表示しております。

損失の発生が見込まれる受注契約に係る未成事業支出金のうち、受注損失引当金に対応する額は71, 744千円であります。

(税効果会計に関する注記)

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

退職給付引当金	1, 480, 597千円
未払賞与	188, 408千円
その他	68, 940千円
繰延税金資産合計	<u>1, 737, 947千円</u>

(1株当たり情報に関する注記)

1. 1株当たり純資産額	675, 694円67銭
2. 1株当たり当期純利益	44, 291円51銭

(当期純利益)

531, 498千円